文教厚生常任委員会

文教厚生常任委員会	◎平原　志保　○鈴木てるみ　山田　龍治　仮屋　国治　新橋　実　植山　利博　下深迫孝二　宮内　博

◎委員長　○副委員長

文教厚生常任委員会では、3件の条例案、1件の契約、陳情を審査

ここに注目！ 日当山中学校体育館を改修

日当山中学校体育館は、昭和53年に建設され、建設後40年以上経過している

このような状況を改善し内装等の木質化及びリフォーム、設備機器の省エネ化やバリアフリー対策など、大規模改造工事を行う

新橋　実 議員

Q 総合評価方式は、入札金額と技術評価点で決まると考える。落札者の技術評価点は三番目であるが、この評価点は入札にどのような影響があるのか。

A 技術評価点は、企業の施工能力、配置予定技術者の能力、地域貢献度等の点数となり、その技術評価点と入札金額により最終的な評価値が決まる。今回は、落札者が最安値で入札したことで、最終的に評価値が一番高くなった。

宮内　博 議員

Q 天井部分にはボールでつけた痕跡がある。この天井の部分の改修は行われるのか。また、屋根の部分は工事をしないのか。

A 仕上げ材のところにボールの跡などが付き、ボロボロ崩れているため、全面撤去して塗装等での改修を計画している。また、平成17年の耐震診断において、屋根の部分が指摘されたことに伴い、平成18年に耐震補強工事をしている。

産業建設常任委員会

産業建設常任委員会	◎蔵原　勇　○久保　史睦　川窪　幸治　宮田　竜二　阿多　己清　松元　深　池田　綱雄　厚地　覺　池田　守

◎委員長　○副委員長

産業建設常任委員会では、1件の指定管理、2件の市道路線の認定・廃止案件を審査

ここに注目！ 市道路線の認定

市道の新設に伴い道路の位置を特定する隼人駅東西自由通路ほか2路線、県道の改良に伴い旧道となる真方1、2号線の2路線、宅地開発により整備され寄付を受けた道路、新川6、7号線、山王馬場1、2号線の4路線、計9路線を市道認定するもの

阿多　己清 議員

Q 敷根28号線の整備計画はどうか。

A 今年度に工事予定である。道路の排水については、基本的には国道220号への接続となる。流域等を拾い上げ、適正な排水を設置する予定である。

厚地　覺 議員

Q 真方1、2号線は、県道犬飼霧島神宮停車場線持松工区の改良工事が令和元年で完了したことに伴いとあるが、持松地区が完了ということか。

A 持松工区が令和元年度で終了したということである。

宮田　竜二 議員

Q 隼人駅東西自由通路の事業計画はどうなっているのか。

A 今年度から都市再生整備計画事業で事業化され詳細設計を予定している。

次のページは 一般質問 15人が一般質問 市政の“そこ”を問う！

市民の声を市政に

一般質問

15人がより良い市政を目指して

一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市の考えを問うものです。掲載内容は、各議員本人が質問と答弁を要約したもので、すべての質問と答弁は、市議会ホームページの録画中継やYouTubeで視聴できます。

霧島市議会　中継　検索

二次元コードを、スマートフォンのQRコードリーダーで読み取ることで、一般質問の録画中継がYouTubeでご覧いただけます。

※一般質問は6月26日～30日に行いました。

今後の隼人市民サービスセンターの利活用は

前島　広紀 議員

問 令和2年7月中旬に、上下水道部が同センターに移転するが、その経費はいくらか。また、移転後の施設の跡地の利活用計画はどうか。

答 事務機器等の運搬費用（お客様センター含む）、賃借料と維持管理に係る負担金を合わせて約3800万円を計上している。水道庁舎跡地は、一般会計への有償譲渡も含めて庁内で検討している。下水道課事務室の利活用についても今後検討する。

河川アダプト制度の推進を

問 河川アダプト制度の効果はどうか。

答 河川における景観保全と美化活動に有効であり、水辺の環境保全を推進している。ごみのポイ捨ての抑制や、通学路における防犯対策にも効果がある。

詳しくはこちらで

新型コロナウイルス感染症第2波に備え医療と検査体制の強化を

宮内　博 議員

問 新型コロナウイルス感染症の第2波に備え、医療と検査体制の抜本的強化が求められる。市内の医療機関の現状と第2波に備えた対策、医療機関への市独自の支援策をどのように考えるか。

答 感染症の第2波に備え、医療センターに、新型コロナウイルスを検出するPCR検査機器の整備を進めている。医療資材も備蓄し、医療機関に対する支援強化に努める。市独自の事業継続支援給付金については医療機関も対象にしており、11件の申請があった。

豪雨災害や土砂災害から市民を守る対策を

問 豪雨災害対策のための天降川や手篭川・郡田川の堆積土砂の本年度の予定量と搬出先を示せ。志學館大学跡地に建設が進む大規模太陽光発電所の災害対策を示せ。

答 本年度搬出予定の当該河川の堆積土砂は約4万㎥である。うち有効利用できる土砂については隼人駅東地区土地区画整理事業地内に搬出予定である。志學館大学跡地の太陽光発電所建設については、事業者に徹底した対策を要請する。

詳しくはこちらで